

新型コロナウイルス ワクチン接種の情報

小平市の接種計画では、11月中旬をもって、対象者の8割の接種が完了する予定です。ただし、これから12歳の誕生日を迎え、新たに対象者となる方や、これまで接種できなかった方を対象に、規模を縮小し、下記の医療機関で11月8日(月)午前9時から予約を受け付けます。

問合せ 小平市コロナワクチンコールセンター ☎0120(985)365 (月曜～土曜日(祝日を除く)、午前9時～午後6時)

予約方法

▶インターネットで予約

小平市コロナワクチン予約システム(右図QRコードからアクセス)へ

※小平市ホームページからもアクセスできます。

▶電話で予約

小平市コロナワクチンコールセンターへ ☎0120(985)365



医療機関名	所在地
こだいら小川町内科	小川町2-1317-11
ちあきこどもクリニック	栄町2-3-7
中山小児科医院	鈴木町1-30-20
遠藤こどもクリニック ※12歳～15歳の方のみ。	大沼町1-21-8
清水小児科内科医院	大沼町4-43-32
比留間医院	花小金井1-9-15
松清医院	花小金井3-5-40
佐々木クリニック	花小金井8-10-26

▶直接、予約を受け付ける医療機関

医療機関名	所在地	電話番号
鈴木小児科内科医院	学園西町2-11-28	042(341)0353

1回目の接種が武田/モデルナ社製ワクチンで 2回目を接種していない10代から20代の男性の方

1回目を武田/モデルナ社製ワクチンで接種済みで、2回目を接種していない10代・20代の男性の方は、2回目の接種をファイザー社製ワクチンへ変更することができます。対象者には順次、小平市コロナワクチンコールセンターから電話で連絡しています。連絡のない方はお問い合わせください。

問合せ 小平市コロナワクチンコールセンター ☎0120(985)365 (月曜～土曜日(祝日を除く)、午前9時～午後6時)

自宅療養者の方へ パルスオキシメータを貸し出し

新型コロナウイルス感染症と診断され、自宅療養している市内在住の方へ、パルスオキシメータ(血中酸素飽和度を測定する装置)を貸し出します。



パルスオキシメータ

※すでに都や医療機関などからパルスオキシメータを貸与されている方、自分でお持ちの方を除く。

※貸出期間が終了したら、返却してください。

申込み 電話で健康推進課へ ☎042(346)3700

気になる症状が出たなど 新型コロナウイルス感染症の相談先

◆発熱などの症状がある方

発熱、せき、味覚・嗅覚異常などの症状がある場合は、かかりつけ医など地域の医療機関へ電話で相談してください。

かかりつけ医など地域の医療機関が見つからない場合は、東京都発熱相談センター(24時間受付)へ電話で相談してください。

▶東京都発熱相談センター ☎03(5320)4592

◆感染の不安や予防に関する相談

新型コロナコールセンターへ電話またはファクシミリで相談してください。午前9時から午後10時まで受け付けています。

▶新型コロナコールセンター ☎0570(550571)、FAX03(5388)1396

11月は児童虐待防止月間 189(いちはやく)

「だれか」じゃなくて「あなた」から

虐待を受けている子どもや虐待をしている保護者は、さまざまなサインを周りに発しています。

ちょっとした目くばり、気くばりで、手を差し伸べられるのは地域の皆さんです。

「おかしい」と感じたら迷わずご連絡ください。



30年連続で児童虐待相談件数が増加

全国220か所の児童相談所が対応した児童虐待相談対応件数は、統計を取り始めた平成2年度以降、30年連続で増え続け、初めて20万件を超えました。新型コロナウイルス感染症の影響で、学校などの休校や外出自粛が継続する中で、地域の子どもの見守る機能が低下し、児童虐待のリスクが高まっている状況にあります。

児童虐待とは

身体的虐待 殴る、蹴る、叩く、家の外へ閉め出すなど

性的虐待 子どもへのわいせつな行為、性的行為を見せるなど

ネグレクト 食事を与えない、ひどく不潔なままにする、病気になるっても病院に連れて行かないなど

心理的虐待 無視する、言葉で脅す、子どもの前で家族に暴力をふるうなど

子どもからのサイン

- 不自然な傷や打撲のあとがある
- 衣服や身体がいつも汚れている
- 落ち着きがなく乱暴、情緒不安定である
- 食事に異常な執着を示す
- 表情が乏しい、活気がない

保護者からのサイン

- 地域との交流がなく、孤立している
- 頻りに小さい子どもを家に残して外出している
- 子どもの目の前で激しい夫婦げんかをしている
- 子育てに関して拒否的、無関心
- いつもイライラして子どもに当たる
- 子どもがけがや病気になっても医者に診せようとしな

虐待かもと思ったらご連絡を

ご連絡いただいた方の情報が本人に漏れたり、責任を問われることはありません。

子ども家庭支援センター (虐待ほっとライン)

☎042(347)3192 (火曜～土曜日 午前10時～午後6時)

緊急時

▶警察 ☎110
▶救急 ☎119
▶小平児童相談 ☎042(467)3711

児童相談所 虐待対応ダイヤル

いちはやく ☎189 (24時間受付)

LINE(ライン)で相談を

都では、無料通話アプリLINEで子どもや保護者からの相談を受け付けています。子育ての悩みや困っていることなど、ひとりで抱え込まずご相談ください。右図のQRコードからアクセスし、友だち登録してご利用ください。

問合せ 東京都福祉保健局少子社会対策部計画課 ☎03(5320)4137



子ゴコロ・親ゴコロ相談@東京アカウント

子ども自身からの相談も受け付けています

学校や家族のことで困っている、お家で悲しいことがある、いやなことを言われるなど、ひとりで悩まないで相談してください。電話・電子メールでも相談できます。

問合せ 小平市子ども家庭支援センター ☎042(348)2102、✉kodomokatei_kodaira@unchusha.com

ヤングケアラーという言葉を知っていますか

ヤングケアラーとは、障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事や、幼い兄弟の世話、家計を支えるため労働などを行っている18歳未満の子どもをいいます。令和2年度に実施した国の調査によると、中学生の約17人に1人、高校生の約24人に1人がヤングケアラーという結果が出ています。ヤングケアラーの早期発見・支援には、周りの人たちが子どもの異変に気づき、気になる子どもに声をかけることが大切です。